

L252P取り扱い説明書

Masa Audio Works 2026/1/24

1. アンプ概要
2. 信号変換回路
3. 高剛性シャーシ
4. 接続方法
5. 操作方法
6. 仕様



1. アンプ概要

L252Pはライントランスを使用したパッシブ・プリアンプで、低インピーダンス・ラインレベル信号の切替と音量調整を行えます、Mシリーズアンプと組み合わせて使用した時に統一感のあるデザインとしてあります。



2. 信号変換回路

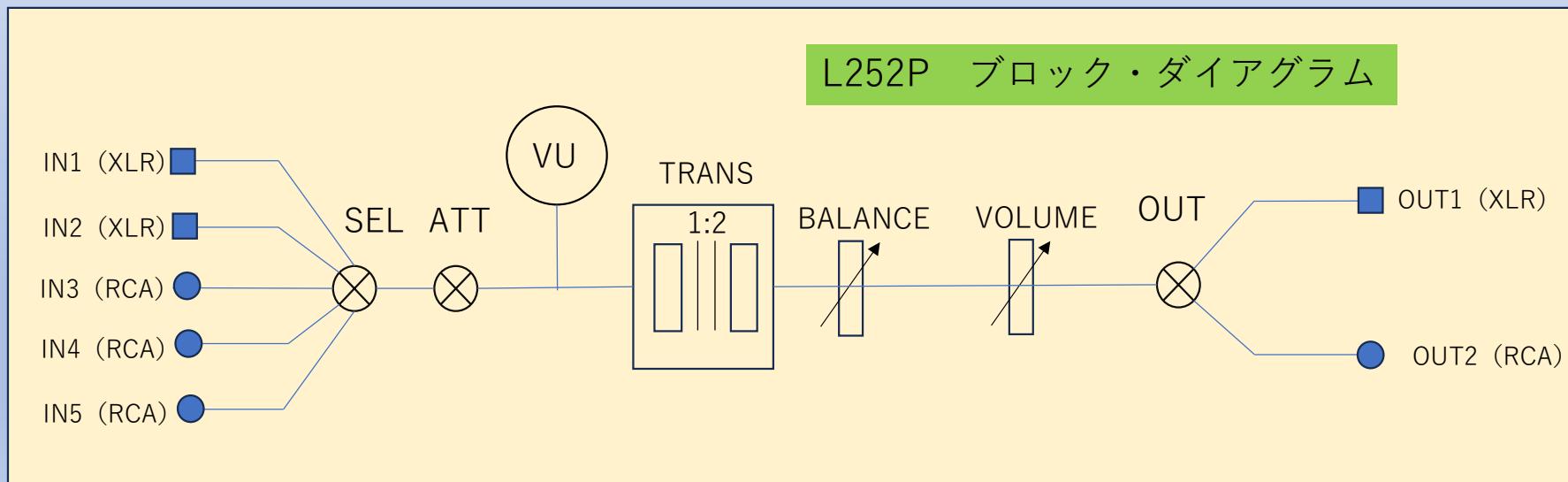
L252Pはライントランスを使用した変換回路でバランス信号とアンバランス信号の相互変換を行う事が出来ます、MシリーズではM205/M210はOUT2にM215/M230はOUT 1に接続して使用します。

IN1/IN2 ==> OUT1 : バランス入力・バランス出力

IN1/IN2 ==> OUT2 : バランス入力・アンバランス出力

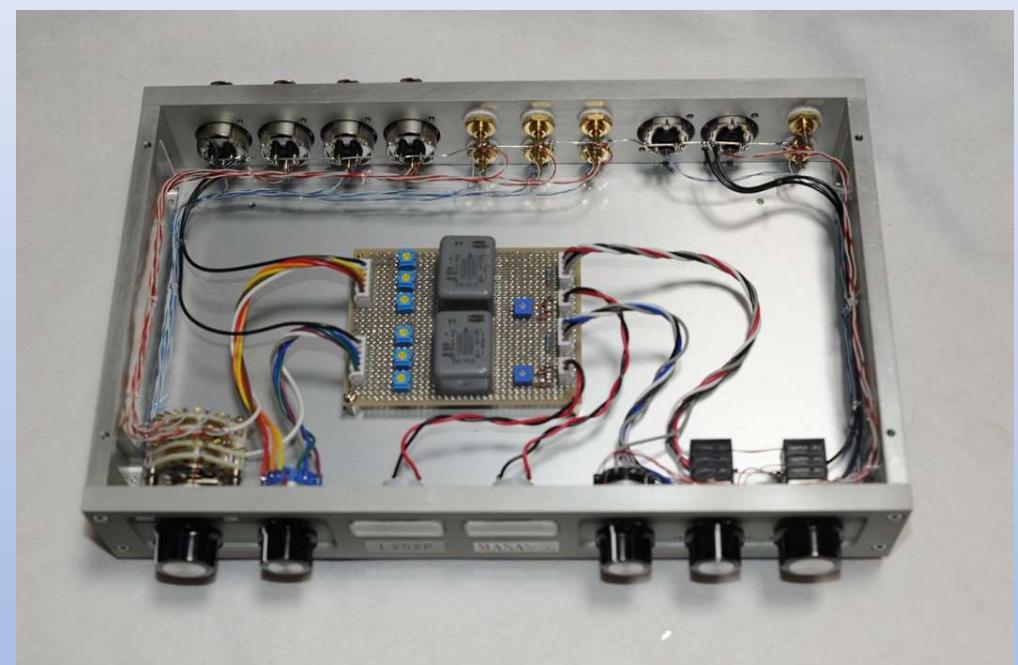
IN3/IN4/IN5 ==> OUT2 : アンバランス入力・アンバランス出力

IN3/IN4/IN5 ==> OUT1 : アンバランス入力・バランス出力



3. 高剛性シャーシ

L252PはMシリーズアンプと基本構造が同じ高剛性シャーシを採用しています、アルミ素材の切削加工で制作したフロント・リアパネル10mm、サイドフレームは8mm、天板は5mmと底板は3mmの総アルミ製のシャーシとなっております。



4. 接続方法

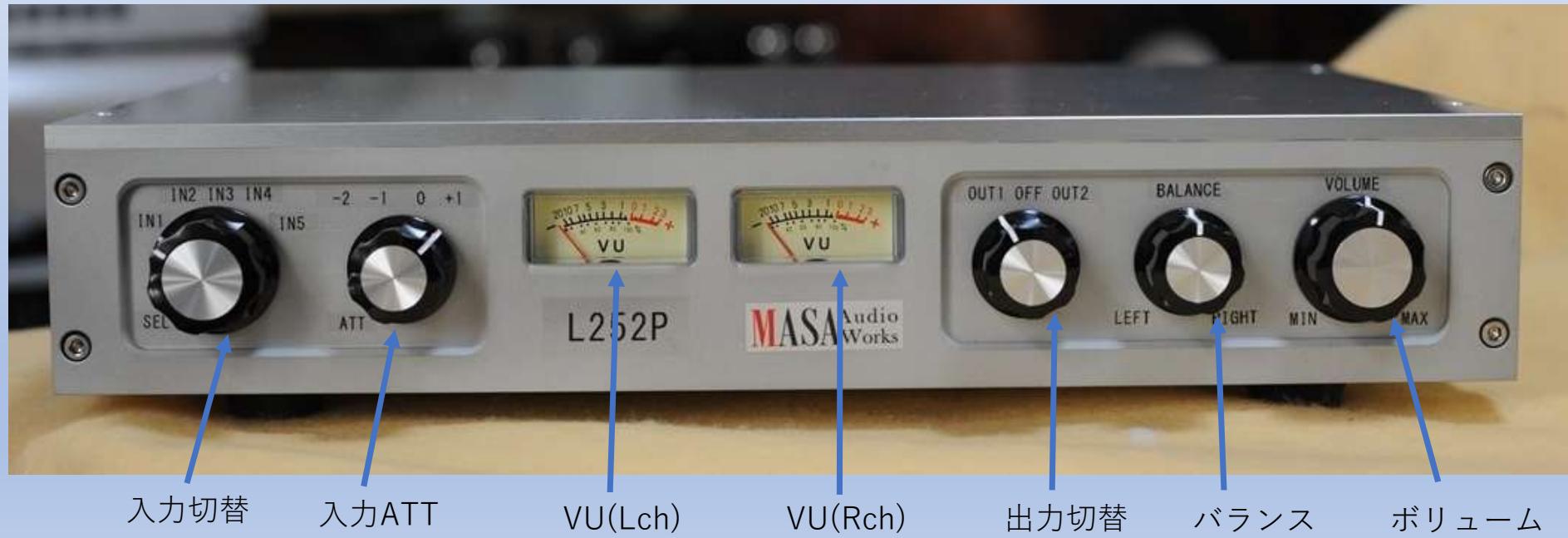
L252Pは現代の低インピーダンス信号出力のDAC、DAP、CDP等に最適化したラインプリでIN1/IN2はバランス出力の機器をIN3/IN4/IN5はアンバランス出力の機器を接続します、信号レベルは1.2Vrmsを標準としていますので高出力レベルの機器を接続する場合は、入力ATTでレベルを調整してください
VUメータ感度はATT = 0 設定で入力レベル2.4Vrms時に0VUに設定してあります。

XLRコネクタ端子配列 1 : GND 2 : HOT 3 : COLD



5. 操作方法

入力切替でIN1～IN5の入力信号を選択できます、入力信号はVUメータで入力レベルの確認可能です、ATTで4段階の入力レベル調整を行えます、出力切替でOUT1 /OFF /OUT2の出力を選択できます、バランス（センタークリック付）で左右バランスをボリューム（23ステップ）で音量の調節できます。



6. 仕様

回路方式：トランス式・パッシブ・ライン・プリアンプ

定格信号レベル：1.2Vrms

入力インピーダンス（出力Open時）：800Ω (ATT:+1)/1.3KΩ (ATT: 0)/2.7KΩ (ATT: -1)/5.7KΩ (ATT: -2)

ゲイン（出力Open時）：+5dB (ATT:+1)/0dB (ATT: 0)/-5dB (ATT: -1)/-10dB (ATT: -2)

寸法（WxDxH）：300mm x 210mm x 65mm

重量：2.6Kg